

MOE PRIDE

MOEの人材育成

キャラが立ってて、いいじゃないか。



親子二代で、MOEに入社したひとがいます。

教師を長年勤め、介護業界に飛び込んだひとがいます。

海の向こうから、日本の介護を学びにきたひとがいます。

性別・年齢・国籍・経歴、実にさまざま。

私たちはこの「違い」を、大きな強みだと考えます。

個々の違いを尊重する「ダイバーシティ」は、

ひとの生き方を尊重する介護にこそ求められる力だからです。

違いは、魅力。私たちは、どんな個性や価値観も歓迎します。



新卒 採用

有料老人ホーム フルールハピネスいしかり 〔介護福祉士〕M.Kさん



2011年、萌福祉サービスに新卒で入社。

MOEグループの施設をいくつか経験し、ステップアップ。

現在は管理職を務める。

MOEを志望したきっかけは？

父がMOEで働いていて現場のことをよく聞かされていました。利用者様がどんな生活をしているか、こんな話が聞けるんだよねって。実態を聞いてより具体的にイメージができたことが大きかったと思いますね。

働きはじめて大変だったことは？

顔を覚えてもらうこと、名前を知ってもらうことですね。よくわからない男の子がいきなり介助させてくださいって言っても嫌がられてしまうので、関係性づくりが大変でした。また、介護学校を卒業したので「ある程度できるだろう」と思っていたのですが、一つ一つの介助のスピードが全然違いました。

MOEで成長する強みは？

MOEの強みは、研修を受けて先輩に教わりながら、しっかり土台を作ってくれるところです。あとはグループとしての強み。いくつかの事業所を経験しましたが、リハビリや看護といったさまざまな専門家と関わることで、幅広い目線を持てるようになりました。

MOEで働くやりがいとは？

MOEで働くいちばんの魅力は、利用者さんと心から声を出して笑いながら仕事できることです。介護は、本当に一生もの。何年もかけて利用者さんと関係を築き、「(リハビリが)ここまでできるようになったよ」という喜びを共有する。それはMOEの、介護という仕事の、達成感だと思います。

介護は、心から
笑いあえる仕事。

中途 採用

ヘルパーステーション
萌 やまのて

〔社会福祉士〕N.Aさん

2019年、中途採用で入社。接客業、介護職を経験し、MOEへ。
入居者様の身体介助を担当し、スキルアップのために勉強中。



前職のお仕事と転職のきっかけは？

他の介護会社での経験が数年、それ以前に接客業の経験もありました。転職のきっかけは、MOEの昔のテレビCMですね。もう少しステップアップしたいと思っていたところで、CMを見て影響を受けて挑戦してみようと思いました。

実際に働いてみた印象は？

イメージ通りだなんて、印象です。募集要項に書いてあった通り「利用者様との関係を大事にする」ところとか、先輩職員が築き上げてきた利用者さんとの関係性とかは他社にはないものでした。私もそうなりたいな、と入社の際に思いましたね。

これからチャレンジしてみたいことは？

年に一度スキルアップのための試験があって、社内に応募要項が配布されます。教育制度もしっかりしていて常にやる気を刺激されるような環境です。ここで吸収できる場所全て吸収する勢いで、どの分野でも活躍できるような人間になりたいなと思っています。

介護業界を志す人へのメッセージ

介護の仕事は、技術の面でも人間的にもいろんな意味で成長できる仕事です。利用者さんをはじめ、いろんな方と関わることによって、自分自身を見つめ直す機会になります。もし悩んでいる人がいたら、まず一度経験してみしてほしいですね。

常に、やる気を
刺激される
環境です。



中途
採用

モエスタαプレミアム
[理学療法士] D.Dさん



2013年、医療より裁量の大きい介護を志し、中途採用で入社。
利用者様とともに、中・長期の視点でリハビリに取り組む。

前職のお仕事と転職のきっかけは？

整形外科病院で約7年間、急性期医療に携わってきました。患者様とたくさん関わってきましたが、その患者様の退院後の生活まではどうしてもわからない。そこから少しずつ病院の領域を超えた介護の領域に興味を持ち始めました。

医療から介護へ転職した理由は？

医療と介護は全く違うと感じています。病院では医師の指示のもとリハビリが行われます。一方、介護は自分自身がその方の目標や課題をケアプランを通して確認し、適切なリハビリを自分で考えて提供します。責任も大きいですが、やりがいも大きいですね。

介護ならではのやりがいとは？

ちょっとしたお声掛けひとつで、利用者様の状態がガラッと変わっていく瞬間があるんです。目の前にいるこの方をなんとかしてあげたい、と心から思っているとできる。それは、医療ではなく、人と密に接する介護ならではの魅力です。

これからの目標と
志望者へのメッセージ

職場の仲間、上司、そして会社の協力を得ながら、どこにも負けない札幌で一番のデイサービスを目指しています。MOEの強みはチーム力です。新卒の方も、転職される方も、がっちりサポートするので、安心して飛び込んでください。

介護には、
病院にはない
やりがいがある。



シニア 採用

有料老人ホーム
フルールハピネスていね

[シニアスタッフ] H.Mさん



2020年に入社。長年、教師を勤めた経歴を活かし、現在は認知症予防・改善の教材づくりや授業形式の学習療法などで活躍中。

前職のお仕事と転職のきっかけは？

高校教員を20年以上やっておりました。管理職になりましたが「目の前で喜んでくれる人がいる」「人のために尽くせる仕事」がしたくて、福祉の仕事に興味を持ちました。

現在携わっている仕事は？

回想法という、認知症の心理療法を担当しています。過去の体験を自ら話していただくことで、脳の活性化を促すと言われていました。学校で教えてるときと同様に知的好奇心をくすぐるような授業を心がけていますね。

経歴や経験が活かされるシーンは？

私は昭和38年生まれで現在59歳。利用者様に比べれば息子みたいな感じ。打ち解けやすさはすごくあると思います。授業の教材づくりで前職の経験が活かされることもあります。あと、僕はギターが弾けるので、みんなで歌うときにこの特技が活かされますね。

同年代の方へのメッセージ

私のような年代の者はたくさん働いております。みんな与えられた使命を、誇りを持って全うしています。MOEはあなたのできることを活かしてくれます。その人の可能性を見出す力もある。ぜひ、恐れることなく自分の経験に胸をはって挑戦してほしいです。

MOEは、自分が
できることを
活かしてくれます。



外国籍 採用

有料老人ホーム フルールハピネスていね [初心者スタッフ] K.Mさん



ミャンマーの看護大学を卒業し、2019年入社。
先輩職員や利用者様から日本語を教えてもらいながら、
利用者様の身体介助を担当している。

母国での学歴、来日の理由は？

ミャンマーの大学で看護を勉強していました。
来日の理由は、日本語を勉強しながら、介護
の仕事を学びたかったからです。現在は、施
設で利用者様の移動介助、食事の介助など
を行っています。

将来の夢や目標は？

介護の現場で使う日本語を上達させるのが
目標です。ゆくゆくは、ミャンマーで医者をして
いる父の病院で、看護や介護の仕事をしたい
と思っています。

働きはじめて大変だったことは？

コトバ(日本語)が大変でした。利用者の方
から日本語をいろいろ教えてもらいました。「あり
がとうございます」と言われたら、「どういたしま
して」と答える。これも利用者様から教わった
言い回しです。仕事上のわからないことは、先
輩職員さんに聞くことで乗り越えられました。

日本で働きたいという 留学生へメッセージ

日本の技術はとても素晴らしいです。日本語が
上手じゃなくても大丈夫。みなさん、ぜひ学び
に来てください。また、札幌で雪や桜を初めて
見て、とてもキレイだと思いました。みなさんにも
ぜひ、見ていただきたいです。

日本語が、
上手じゃなくても
大丈夫。

MOE PRIDE

私たちは、共有すべき価値観として以下の8つの行動指針 (Action 8) を掲げ、スタッフ一同は責任と誇りを胸に、一丸となって日々の業務に向き合っています。

1 「そこまでやるか」を、やってみる。
妥協を許さない。言い訳をしない。1%の実現に100%の努力を惜しまない。それが、「MOE PRIDE.」。

2 「喜びのサイクル」を、つくる。
利用者様の喜びをMOEの喜びに。MOEの喜びを、一人ひとりの喜びに。それが、「MOE PRIDE.」。

3 人としての「在り方」を、大事に想う介護。
利用者様の尊厳を重んじる。一人の人としてどう向き合うか自問自答を重ねる。それが、「MOE PRIDE.」。

4 「笑顔」がないと、価値がない。
利用者様が心地いいと感じる配慮や立ち振る舞い。思いやりの接遇技術を磨く。それが、「MOE PRIDE.」。

5 「命の尊さ」と、命がけで向きあう。
生活を守る意識を高める。命を守る意識につなげる。それが、「MOE PRIDE.」。

6 「イメージ」で語らない、介護を。
科学的根拠と裏付けのある介護。利用者様やご家族の納得を導き出す介護。それが、「MOE PRIDE.」。

7 「まじめである」は、MOEの美学だ。
嘘はつかない。約束は守る。果たす義務を自覚する。その上で、最善を尽くす。それが、「MOE PRIDE.」。

8 「世界のスタンダード」として、牽引し続ける。
MOEの介護が、世界中の高齢者の希望につながっているという自負を持つ。
だからこそ一人ひとりが求められる成果にこだわる。それが、「MOE PRIDE.」。



MOEの人材育成 キャリアパス制度

責任の重さの割に、賃金が低いと思う。

勤めつづけても、なぜか賃金が上がらない。

がんばるだけ損?と感じたことがある。

その不満、MOEなら解決できます。

MOEのキャリアパスの特徴は、公平性。

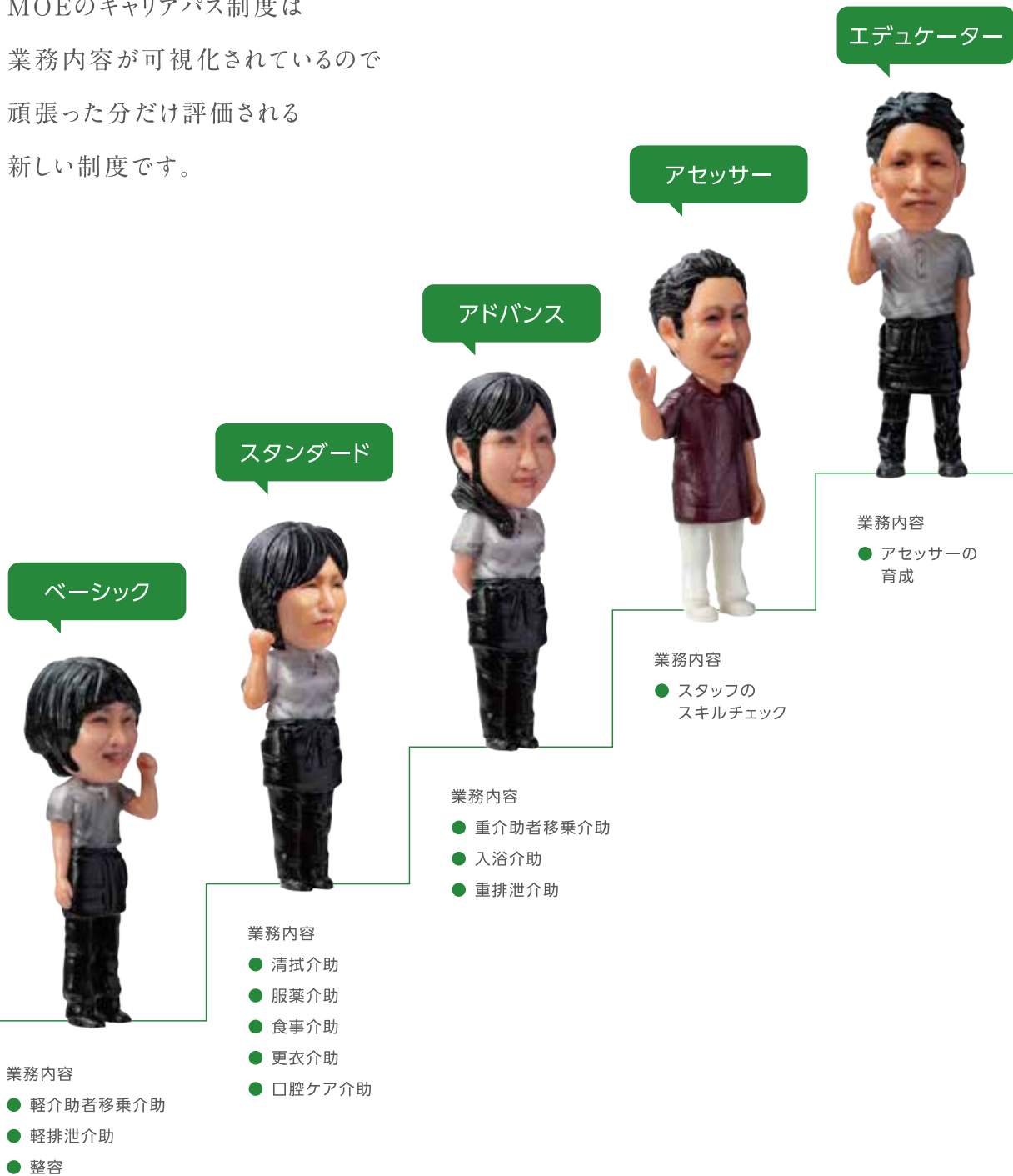
あいまいな基準はなく、評価のものさしは明確です。

ここでは、努力が報われないことはありません。

努力を向ける方向性を、はっきりと示すからです。

私たちが目指した公平と平等

頑張ったのに評価されない。
自分ばかり作業量が多い気がする。
頑張りが損を感ずてしまう。
そんな環境の中では成長することは
難しいのではないのでしょうか。
MOEのキャリアパス制度は
業務内容が可視化されているので
頑張った分だけ評価される
新しい制度です。



MOE独自の評価基準

平等な昇給制度と3つのマイスター制度

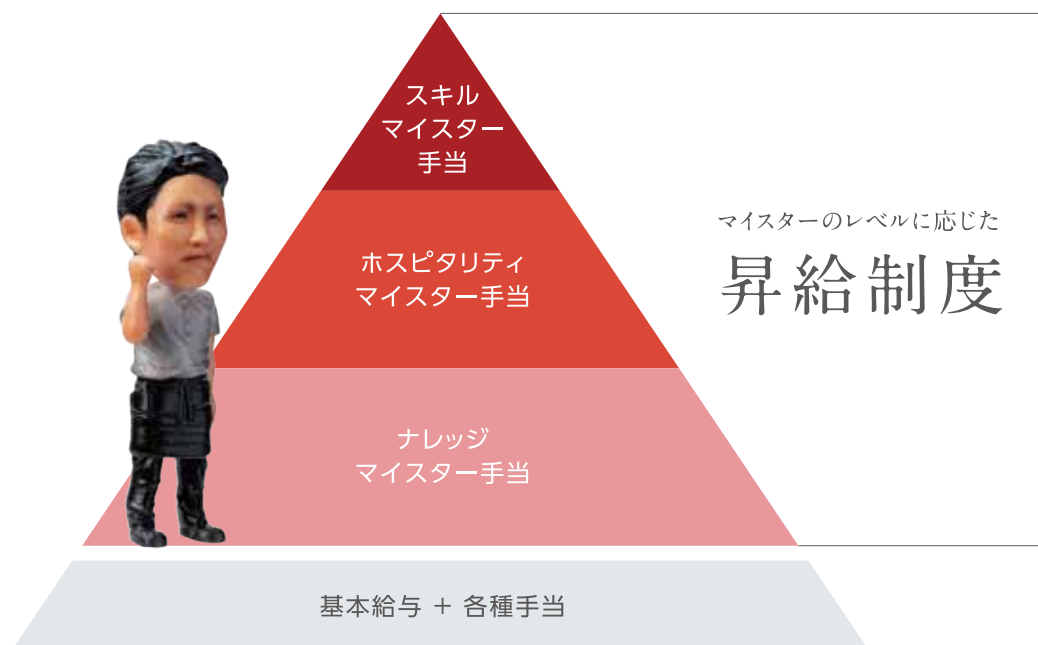
MOEの昇給制度は、業務内容を可視化した独自基準です。

子育て中の方、シニアの方、給与UPを目指している方、

3つのマイスターのレベルに応じた昇給制度を設定。

それぞれの持ち場で、それぞれの目標に向かって努力し、

ひとつ上のサービスを目指す意欲を引き出します。



[知識] ナレッジ マイスター

MOEの提供する、Eラーニングで
個別学習した知識を筆記試験にて
レベル判定します。



専門職として、確かな知識と技術を身に付けてもらうために、Eラーニングの仕組みを活用し、研修を実施しています。年に一度その知識を確認する試験を行い、会社の求める基準に合致する職員を評価しています。評価の内容は、手当のアップや社内への掲示など、職員の頑張りが評価に直結する仕組みを構築しています。

【接遇】
ホスピタリティ
マイスター

介護において大切な要素である接遇を
MOE独自の評価方式により
レベル判定します。



全ての職員は介護さえ提供できれば良いわけではありません。そこに、心地の良い接遇が伴ってはじめてMOE基準のサービスとなります。利用者様に、安心して心地の良い生活を送っていただくことができるようになるために、職員は接遇向上のための取り組みを行っていく必要があります。そのために、ホスピタリティマイスター制度を導入し、MOE基準で接遇向上を目指しています。そして、接遇向上すなわち利用者様の生活向上に寄与することができる職員には、それに見合った手当が支給される制度です。

【技術】
スキル
マイスター

介護のスキルレベルを自己申告と
現場の責任者が判定。
それぞれのレベルに応じた
業務内容を決定します。



介護業務を行ううえで、一定水準以上の介護に関する知識と技術が必要となります。MOEでは、その知識や技術を身に付けるためのサポートを行っています。Eラーニングなどの、研修用動画や教育システムによる直接指導などを行いながら、全ての職員が知識や技術を身に付けるチャレンジを応援しています。

介護技術を軽介助、重介助それぞれ細かく分類して、各項目の達成度に応じて、介護職員をベーシック、スタンダード、アドバンスの3段階に分類し、その段階に応じた時給設定が行われます。また、この段階は職員が自ら選択することも可能です。例えば、しっかり働いて高い手当を目指したい人、介護の経験は少ないけれど空いた時間で少し余裕を持って働きたい人など、そういった、個人のライフスタイルや能力に合わせて選べる平等な昇給制度です。

マイスター制度とは

ドイツでは、専門的な技術や理論をマスターした人をマイスターとし称号を与えられる。近年、日本においても、このマイスターの概念を取り入れ、1つの分野に精通したプロフェッショナルや、匠の技を極めた従業員を適切に処遇する仕組みとして、「マイスター」といった名称で仕組み化を図り導入している企業が増えています。

1999年から、

コツコツと積み上げてきた信頼と実績は、私たちの財産です。

とはいえ、この安定感にあぐらをかきつもりはありません。

私たちの「本気の取り組み」を、

これまで以上に全道へ広めていきたい。

もちろん、どんなに組織が大きくなっても

利用者様には、想像以上の満足をお届けできるよう、

全職員一丸となって取り組んで参ります。

専門スキルや資格は会社につくのではなく、個人の財産です。

個の力が上がれば、集団は強くなります。

そのために、時間をかけてじっくりと人材を育成すること、

社員が健康で、安心して笑顔で長く働ける環境こそが

大切だと考えています。

皆様が MOEで素晴らしいライフワークバランスを

手に入れられることを心より願っております。

代表取締役社長 水戸康智





株式会社 MOEホールディングス

〒063-0001 札幌市西区山の手1条1丁目3番地 MOE Bldg.2F

TEL.011-612-0310 FAX.011-612-0311